

安来高校植物図鑑（2023年6月）

グミの仲間（茱萸）

2021年6月にも少し紹介したグミの木。今年もたわわに実りました！4月中旬頃、枝に下向きの花が大量に付いていました。左の写真は花を下から撮影したものです。花自体は色が地味なので目立ちませんが、満開の頃にはあまりにも花が多くて枝全体が白っぽく見えました。そして6月になり、縦長のグミの実が大量にぶら下がって揺れています。鈴なりという言葉がぴったりだと思います。実の写真を撮りに行った日は風が強く、実が上から次々に落ちてきて、頭に直撃するというまるで漫画に出てきそうな状況が何度も起こりました。興味のある方は食べてみてください。味はわかりませんが、一般的にグミは渋みがあるのだらうと思います。



ツツジの仲間 & サツキの仲間（躑躅 & 臯月）

見た目がそっくりなこの2つの花。サツキはツツジの一種なので、似ているのは当たり前なのですが、最近やっと見分けられるようになりました。写真は左がツツジで右がサツキです。花はツツジのほうが少し大きいですし、葉もツツジのほうが大きいです。左の写真は花に対して葉がかなり大きいのがわかるのではないのでしょうか。右の写真は花より葉が小さいですよね。ツツジはおしべの数が5本以上で定まらないですが、サツキは5本です。おしべの先端には葯(やく)があり、黒く見えるので、それを数えてみるのがわかりやすいと思います。そして、ツツジはゴールデンウィークから5月中旬頃が花盛りですが、サツキは5月下旬から6月の今頃が最盛期のよう

です。今、校地内でピンクやオレンジの色で咲いているのはサツキです。おしべの本数を数えてみて下さい。(写真ではツツジが10本でサツキが5本です。)

